

# 論文名 静岡空港建設工事に携わって

岡村建設工業株式会社 小柳津 佳久

工事名 平成20年度 [第20-M2200-01号]静岡空港アクセス  
道路計画整備工事(メイン舗装新設切山工区その2)

## はじめに

本工事は、富士山静岡空港のアクセス道路として、国道473バイパスから空港を結ぶ道路の舗装工事であります。

6月4日の開港に向けて工事が進められる中、当工事も近接工事が10件以上あり、他業者と緊密な工程調整を行いながら工事を進めてきました。工事を施工するに当たり下記のような問題点が予測されました。

- 1 生活道路が近接にあり、地域住民の安全対策、環境対策
- 2 含水比に敏感な土質に対する対策

上記2点の問題点、解決策、工夫についてこれから説明を行います。

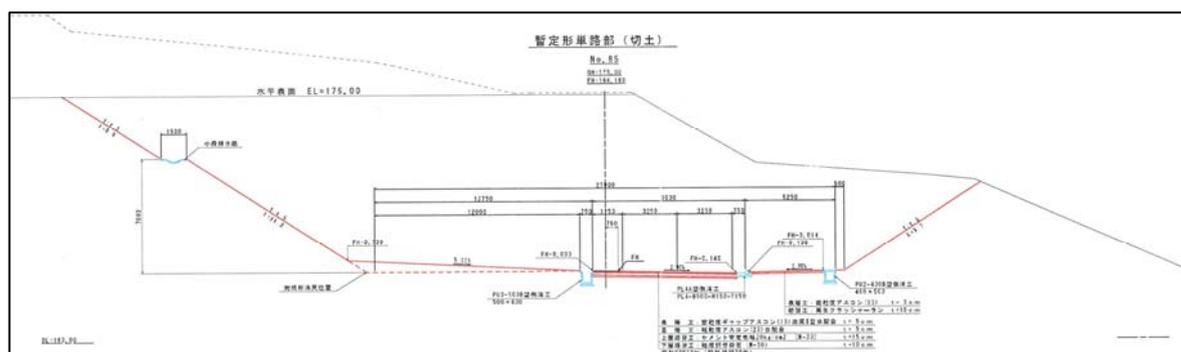
工事概要 施工延長 L=340m

道路土土	3500m <sup>3</sup>
アスファルト舗装工(車道)	3140m <sup>2</sup>
アスファルト舗装工(歩道)	1230m <sup>2</sup>
アスファルト舗装工(取付道路)	2090m <sup>2</sup>
道路付属施設工	1.0式

## 着手前、完成写真(全景)



## 標準横断面図面



**問題点** 1.地域住民の安全対策、環境対策について。

生活道路が施工箇所西側10mほどに近接し一般車両が通行しています。空港建設工事と言う事で車を止めて見学する人も見受けられ第三者の安全対策が重要である。また現場より30mほど離れた場所に民家が有り騒音、振動等で迷惑を掛ける恐れがあり、その対策が必要である。

**安全対策** 空港建設工事の規定では、近接箇所からの車両出入りの規制は無かったが本工事の車両については、出入りを極力規制した。

出入り口には、単管バリケード、工事看板、標識を設置して第三者の現場内の侵入を防いだ。現場仮設事務所がすぐ近くにある為、入り口の締め切り管理にも十分、目が行き届いた。



馬ノ瀬橋よりバリケード設置状況 PM5:15

また、作業終了後より翌日の作業開始前までは、夜間本線及び側道からの一般車両、第三者の現場内進入を防ぐため関連近隣工事業者と打ち合わせを行いバリケード、看板、ロープ等で進入禁止措置を行いました。

**環境対策** 使用機械をすべて低騒音、低振動の機械を使用し、作業時間もAM8:30~11:30 PM1:00~4:45とし、極力地域住民のくつろぎの時間には、重機を使用しないよう心掛けた。

現場内のホコリ対策はもちろんの事、生活道路にもホコリ対策として1日4回の路面散水をおこないました。

年末、年始及び月一回程度、近隣民家に伺い騒音、振動の有無を確認しました。住民の皆さんは、「これといって気にならない。」「早く良い道路を造ってください。」と言っていただき、今後の残工事施工の励みになりました。

## 問題点 2.含水比に敏感な土質に対しての対策

空港建設工事の合言葉である「晴れたらホコリ、雨なら濁水」に在るとおり現場周辺の土質は泥岩であり、含水量が少なくなると、すぐにホコリになり逆に含水量が少しでも多くなると粘土化してしまい、含水比の管理がすごく重要な土質でありました。このような性質の土質を路床として取り扱うにあたり最も重要な事を含水比管理と位置づけ施工に当たりました。

**対策** 土質乾燥対策には、自社の散水車を導入し、専属のオペレーターを付けました。又、タイヤローラーの路面散水機能を利用して散水車のサポート的役割を行う事としました。散水車をフル稼働させることにより、給水作業も容易に行うことが出来ました。雨による土質の悪化を防ぐために、天気の情報リアルタイムで入手して雨対策をより早く実行することに心掛けました。



ディストロビューターによる瀝青材料散布状況

路床、路盤の仕上げ作業を降雨前に、いち早く行い、路床に関してはスレーキング対策を兼ねた瀝青材料の散布を敏速に行いました。それにより雨水の浸入を防ぎました。

瀝青材料 浸透用P型ペネコトE

**結果** 土質の乾燥対策(ホコリ対策)は、全体的に給水状況がスムーズに出来たことにより十分機能したとおもいます。雨による土質対策は、思いもよらない季節はずれの大雨を一度もらったが、瀝青材料の効果が十分あり1日の自然乾燥で作業を行うことが出来ました。又、アクセス道路建設協議会に積極的に参加し、近接工事との連絡を密に取りながら近接工事他車両の通行を規制しながら施工を進めていった事も路床、路盤を傷めなかった原因のひとつだと思います。

おわりに

この工事を施工するにあたり、空港建設事務所の皆さん、島田土木事務所の鈴木検査監には工事進捗状況について多大なご協力をいただき、又、アクセス関連工事協議会の各社にもご協力願いなながら工事が完了することが出来ました。この空港建設プロジェクトに参加でき、経験出来たことをこれからの自分の財産として、より良い作品を造って行きたいと思えます。